

2019 年度 F119 project 活動報告書

2019 年 11 月吉日



2. F119project 活動報告

2-1 2019 年度目標

2019 年度は下記を目標に活動を行って参りました。

・車両コンセプト

【空力・低重心・軽量】

とし、F118 マイナーチェンジモデルとして
三要素の向上を目標といたしました。

・車両目標

スキッドパッド 4[s]
アクセラレーション 4.2[s]
オートクロス 60[s]

・目標諸元

出力 55ps/7000rpm
トルク 7.2kgfm/6500rpm
車両重量 195 kg
大会目標：今年度車両の完走、20 位以内入賞



図1 F119 設計時アッセンブリ図

3

3. 第 17 回大会参戦報告

3-1 大会成績

第 17 回大会では表 3 に示す結果を残すことが出来ました。

表 3. 大会成績

種 目	得点 (得点 / 満点)	順 位
総合	187.5/ 1000	63 位
コスト	16.30/ 100	55 位
プレゼンテーション	30.46 / 75	68 位
デザイン	67.00/ 150	36 位
アクセラレーション	4.50/ 100	61 位
スキッドパッド	8.57 / 75	55 位
オートクロス	59.22 / 125	54 位
エンデュランス	1.00 / 275	65 位
効率	0 / 100	53 位

3-2 大会振り返り

今年度は弊チーム立ち上げ以来初エアロデバイス搭載を行い 4 枚独立可変ウイングへの挑戦、前年マシン F118 の改善点より設計見直し等を行いました。新たなチャレンジと改善を行って挑んだ大会だったと思います。

技術車検の早期通過、騒音等現場でのトラブルへの早期対応など準備、段取りは準よく運ぶことが出来ました。しかし、静的審査の強化、車両の早期シェイクダウン等昨年度の課題改善を行いました結果としては昨年度と順位は大きく変わらず 66 位から 63 位となりました。

結果としては良い結果とは言えませんが、昨年度の課題改善を行うことができ、それによって更なる課題を見つけることが出来ました。今年度改善できたことを継続し、次年度は三か年計画最後の年として集大成をお見せできますよう精進致します。

7

4. 活動の振り返り

4-1 チーム全体の良かった点

F119 プロジェクトは前年度主要メンバー継続の 2 年目のプロジェクトとなります。F118 に対しチーム数も増え新たな項目であるエアロデバイスへの取り組み、昨年度の改善点への取り組み等を行えたチームでした。

特に静的審査への強化を中心に活動を行いました。今年度から静的審査への取り組みの分散化を行い、コストに関しては今まで明確なベースがありませんでしたが今年度はそのベースを作ることで、今後のアップデートへとつなげていける体制を築くことが出来ました。また、デザイン審査に関しては次世代メンバーが中心となり準備を行い大きく順位を向上することができ、プレゼン審査に関しても次世代メンバーを交えプレゼンの製作等を行い次年度引継ぎに向けた動きも行うことが出来ました。

車両に関しても昨年より早期シェイクダウンを達成しました。



4-2 チーム全体の悪かった点

前年度問題となったコミュニケーション不足に関してはまだ改善を行った方がよいと感じました。忙しい時期になると申し伝え不足が増加する傾向にあるため余裕がない時にこそどのようにコミュニケーションを密に取るかを考えるべきだと思いました。また、シェイクダウン自体は早めることが出来ましたが、大会仕様となるまで時間を要しすぎました。

8